

# 学生セミナー ～学生と企業の技術者の交流会～

日時： 2018年9月6日（木）9：30-12：00

会場： 北海道大学 工学部棟 C209 講義室

昨年に引き続き、学生と企業の技術者との交流会を実施します。企業の若手技術者の方にご自身の経験を踏まえて、企業とはどういうところか、技術者として働くにはどういう意味があるのかなど、今後の進路や就職にも役立つ体験談をご紹介します。お菓子を食べながら講師の方から生の声が聞ける質問コーナーもありますので、奮ってご参加ください。

※参加希望者は直接、工学部棟 C209 講義室へ 9:15 までにお越しください。

※会場の都合により定員 30 名です。参加希望者多数の場合には先着順とさせていただきますので、予めご了承ください。

## 昨年度の学生セミナーの様子

### (1) 学生セミナー

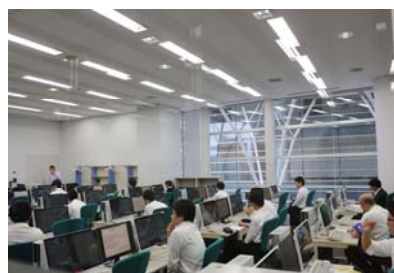
大会副委員長 森一之（三菱電機）

電子・情報・システム部門として初めての試みとなる学生セミナーを開催した。本セミナーは、就職活動のための情報提供ではなく、企業の若手技術者・研究者を講師に迎え、講師との交流を通じて今後の大学生活に反映していただくことを目的に開催した。セミナーには、先生の紹介や部門大会 HP、大会会場での案内や開催案内のチラシで開催を知った 14 名が参加された。

第 1 部では、司会の下平氏（NEC）からセミナーの趣旨が説明された後に、講師の猪狩直志氏（東京電力パワーグリッド）、丸山高弘氏（三菱電機）、長坂真理氏（東芝）、吉田健人氏（明電舎）、服部俊一氏（電力中央研究所）の皆様に、自己紹介につづいて、ご自身の経験を踏まえて、企業とはどういうところか、技術者・研究者として働くことにはどういう意味があるのかなど、社会人として働いた経験から伝えたいことを自由にお話しいただいた。

第 2 部では、会場を e とびあ 5 階の飲食エリアに移し、5 つのグループに分かれて、お菓子をつまみながら各講師との交流を行った。グループは学生 3 名に講師 1 名がつく少人数の構成としたため、非常に活発な交流が行われていた。また、10 分毎に講師が円卓を移動することにより、すべての学生がすべての講師と交流することができた。なお、講師が交代の時間なっても話がづくグループがあったため、司会が講師の移動を促す場面もあった。セミナー終了後に記載していただいたアンケートでは、全員から参加して良かったとの回答が得られたので、来年の札幌大会でも本セミナーを企画する予定である。最後に、本セミナーを開催するにあたり講師を推薦していただいた役員の皆様、貴重な体験談を資料にまとめてご紹介いただいた講師の皆様深く感謝いたします。

（電気学会電子・情報・システム部門 News Letter 1 月号をもとに作成）



学生セミナーの様子